

# にこにこ はきはき こつこつ



文責  
：高本

## 目標があるということ！

新学期が始まったばかりの大切な時期。しかし大地震で学校は休校となった。体育館1階の道場は、照明に不具合が生じたものの、床は大丈夫だった。しかし、米田敏郎監督は、「稽古」ではなく「解散」を命じた。「多数の生命が失われた。今、恐怖や不安に襲われ、困っている人がそこにいる。そこを考えて行動しろ。自分のことだけ考えてはいけない。今やれることをしなさい。剣道はいつでもできる。」全員を自宅に帰した。「希望は失望に終わることはない」「耐えられない試練はない。」と、生徒を励まし続けた。監督は言う。「震災の中で、いろんな経験をした。見た。これを財産に代えて人生の中で生かしてもらいたい。時間と心を無駄にするな。」

練習を再開した後の九州学院剣道部は、地震で練習できなかった3週間のブランクがあったもののインターハイ4連覇を達成した。

先日、大津町教育委員会主催の「夢作文」表彰式がありました。

(配布分にはありさんの写真が掲載されていました)

本校からは6年生の石原あいりさんが、夢大賞を受賞し、当日作文の発表をしました。これまでの経験やいろんな人との出会いの中で、将来の

生き方を考えている子どもたち。とっても素晴らしいと思いましたが、たくましく感じました。

児童に対する学校評価アンケートでは、「将来の夢がある」で、下記のようにになりました。

- ・そう思う … 72%
- ・だいたいそう思う… 16%
- ・あまり思わない … 5%
- ・思わない … 7%



夢といっても「なりたい職業」を考えている子や、「どんな生き方をしたいか」を考えている子など、さまざまですが、目標があるということは、頑張る意欲が湧いてくると思います。九州学院剣道部員には明確な目標があり、それを達成することは自分だけの目標ではなかったと思います。一緒にきつい練習をしている仲間や、いつも支えてくれる家族、お世話になっている地域の方々等、みんなに喜んでもらいたい、恩返しをしたいという気持ちもしっかりと持っていたのではないのでしょうか。夢に向かって、頑張りましょう！

## 阿蘇市復興ミニバスケ大会 優勝！

女子ミニバスケ部優勝、おめでとう。増田さきさんがベストプレイヤー賞受賞です。

(配布分には、バスケ部の写真が掲載されていました)

